

分科会

	分科会名・テーマ	内 容	世話人
1	子どもの生活と文化 子ども・若者の生活実態と主体的と りくみ	○子ども・若者の主体的文化活動を交流しあい、課題や 展望を整理しながら、学び合う。	本庄 眞 (奈良) 泉 宜宏 (東京)
2	青年期教育 高大の接続から教育実践を考える	○ 中堅高校でのキャリア教育実践と授業実践 ○ ノン エリート大学でのキャリア教育と授業実践	宮田雅己(神奈川) 乾 彰夫 (東京)
3	能力・発達・学習 自分のなかに希望を見出す学習を	○子どもたちの今と学習・発達 ○教室という小さな社 会を築く教育実践 ○子どもと社会をつなぐいとなみ	荒井嘉夫 (東京) 片岡洋子 (千葉)
4	身体と教育 教育の独立性を “健康・養生” から 問う	○保健・体育の授業でできること ○保健室・教員室か らできること ○家庭・地域からできること	高柴光男 (東京) 横田誠仁 (東京)
5	美的能力と教育 子どもの表現が生まれるとき	○幼児の生活と演劇・総合表現○音楽劇における小学生 の表現○子どもの絵から見える生活とその成長	落合利行 (東京) 山田康彦 (三重)
6	ことばと教育 真実を紡ぐことばの教育と授業の創 造	○ことばの発達と豊かなコミュニケーション ○ことば を育てる国語・英語の授業 ○生活に根ざした自己表現 を紡ぐために	神 郁雄 (東京) 瀧口 優 (埼玉)
7	社会認識と平和 今、民主主義を子どもとともに考え る	○子どもに寄り添う・子どもから学ぶ○要求から討論へ ○ヘイトスピーチの授業○水俣を歩く○教科書問題考察	神原昭彦(東京) 久保田貢(愛知)
8	自然認識と教育 主権者を育てる科学的リテラシーの あり方を考える	○環境・原発事故等選択的課題に迫る ○学校での科学的 な概念・知識と技術の習得・科学リテラシーを考える	三石初雄(東京) 大森 享(北海道)
9	道徳性の発達と教育 道徳の教科化と私たちの教育実践	○道徳教育政策のねらい ○「私たちの道徳」の批判的検 討 ○私たちの道徳授業実践の可能性を考える	奥平康熙 (東京) 藤田昌士 (埼玉)
10	教育課程と評価 学力・教育課程の問い直しと再生	○3.11と向きあう教育実践 ○教科・道徳・総合学習の 授業をつくる ○若者の期待と挑戦 ○教育評価	梅原利夫 (東京) 本田伊克 (宮城)
11	学校づくり 今を生きる子どもと共に学校をつく る	○子どもと学校の現在 ○子どもと教職員の権利を守る ○子ども・父母・教職員の参加と共同	田沼 朗 (山梨) 宮下 聡 (東京)
12	地域と教育 地域あつての学校、学校あつての地 域	○原発避難と子ども・地域・学校の現在 ○学校統廃合 問題と小さな学校の価値 ○子どもの育ちの社会基盤を さぐる	境野健兒 (福島) 細金恒男 (東京)
13	政治と教育 「安倍教育改革」に抗して教育の民 主主義を	○教育委員会制度や教科書制度改悪と教育内容統制 ○ 道徳の教科化 ○大学の自治の剥奪 ○教育改革と教育 の民主主義	中田康彦 (東京) 三上昭彦 (東京)
14	性と教育 自立と共生/子どもたちの性をどう育 むか	○今日の子どもと性 ○性の主体を育むには～実践をすす めるネットワークづくり ○これからの生き方とジェン ダー観を考える授業	中嶋みさき(東京) 藤田和也 (東京)
15	発達障害と教育 子どもの理解を軸に据えた実践を創 る	○当事者にとっての「発達障害」の意味を深め、困難をか かえながら生きる子どもの理解を軸に据えた実践を探る	森 博俊 (山梨) 加茂 勇 (新潟)
16	現代の子育てと親・おとな 子どもの生存・成長を支える新しい共 同へ	○安倍「教育再生」と、子ども・親が考えていること ○ 子ども・親と共に歩む援助専門職と教師の模索。	山形志保(北海道) 田中孝彦 (兵庫)
17	教師の危機と希望 いま、人間として教師を生きるために	○安倍「教育改革」は教師に何をせまっているのか○いま 教育実践を語ることの意味○職員室と教室を自由の広場に	山崎隆夫 (東京) 佐藤 隆 (山梨)
特 設	教室と授業を語る 現場からの希望を 授業・指導のつまずき、悩みを語りあ う	○「教室」は教育実践・研究の総合的把握を可能にする概 念である。これを鍵として、授業・指導を考えたい。	石垣雅也 (滋賀) 山田哲也 (東京)